

二十歳の主張

竹原 海生琉

本日は、私たちのためにこのような式典を開催していただき、誠にありがとうございます。

故郷である西条市で二十歳という節目を迎えられたことを、大変嬉しく思います。

そして、市長をはじめご来賓の方々、ご臨席を賜りました方々に心よりお礼申し上げます。

今日、二十歳という大きな節目を迎えた私たちは、今まで以上に自分の行動に責任を持ち、自分自身の力で成長していかなければならない大人の仲間となりました。

この二十年間を振り返ると、沢山の方と出会い、成長することができた二十年だと感じます。二十年間見守り育ててくれた家族や、長年、苦楽を共にした友人、私と出会い支えてくれたすべての方々に感謝しています。

今日から私たちは、二十歳の節目を迎え、新たなスタートを切ります。大人としてまだまだ未熟で、沢山の迷惑をかけることがあると思いますが、これからいろんな経験を積みながら日々成長していきます。

最後になりましたが、本日はこのような発言の機会を頂きありがとうございます。

以上を持ちまして、私の二十歳の主張とさせていただきます。